

第1回 東京2020大会アーカイブ資産等の活用に係るアドバイザリー会議

令和3年11月15日（月） 13時から15時
東京都庁第二本庁舎10階207会議室

<資料>

資料1 会議概要

資料2 アーカイブ資産等の概要

資料3 アーカイブ資産等の活用

参考資料1 アーカイブ資産例

参考資料2 アーカイブ資産以外に活用できるもの

<資料 1>

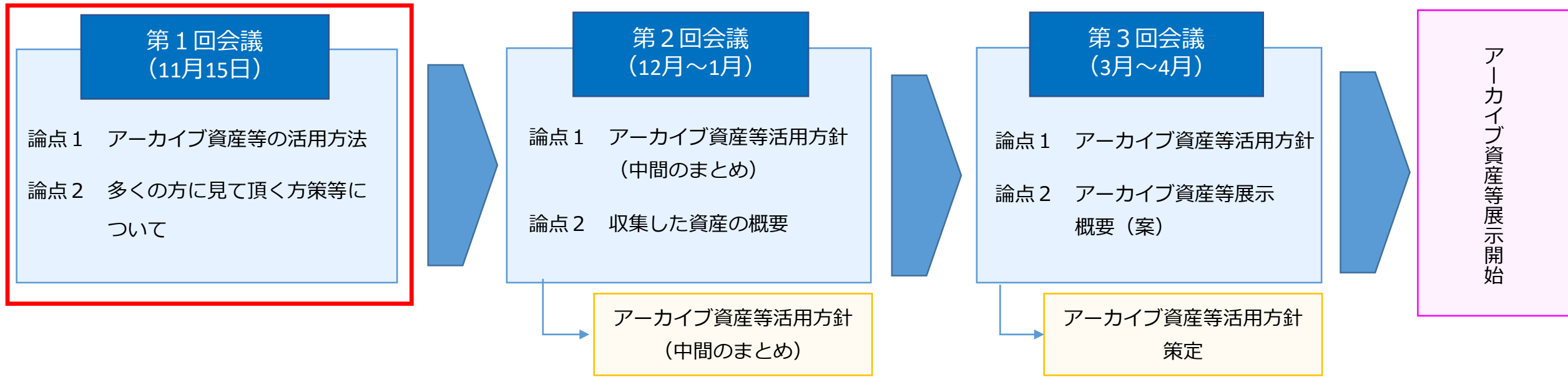
会議概要

1 アドバイザリー会議の概要

<目的>

- アーカイブ資産等の活用方法や効果的な展示方法などについて、有識者からのご意見やご見識を参考にさせていただき、令和4年度以降の活用を生かしていく。
- いただいたご意見をもとに、東京2020大会アーカイブ資産等活用方針を策定し、展示に生かす。

2 今後のスケジュール



＜資料 2＞

アーカイブ資産等の概要

1 アーカイブ資産とは

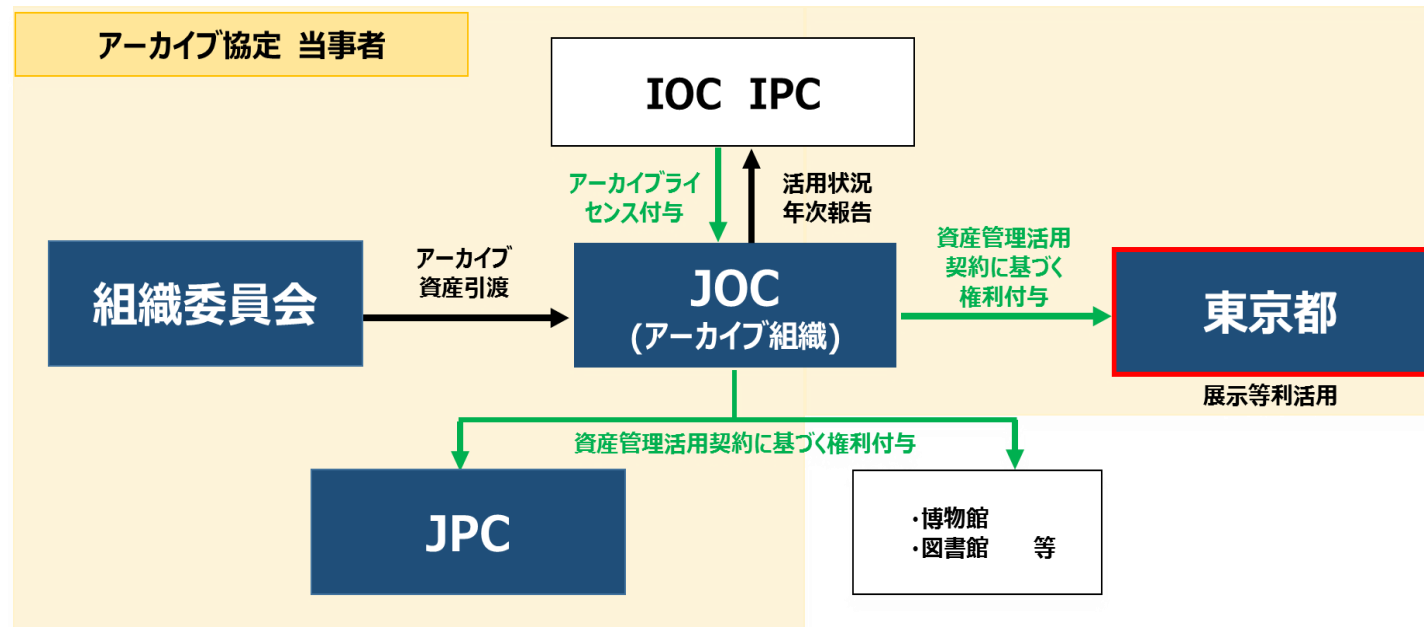
- 大会の準備・運営等に伴って作成・利用された資産のうち歴史的な価値を有し、大会の記憶・記録を伝えていくもの。
- IOC・IPCの承認のもと、長期的に保存し、後世に受け継いでいくべき重要なレガシーとなる。
- 東京2020大会資産のうち、右表のものを「アーカイブ資産」と位置づけ、展示等の活用を図る。原則、展示のみに使用でき、触れることができない。
- アーカイブ資産となりうるものから以下の視点で収集。資産の散逸を防ぎ、適切に活用できるよう管理。
 - ・ 大会との関連性・・・式典や競技を想起させるものか
 - ・ 歴史的な価値・・・歴史的な価値を有し、長期的に保存し、後世に受け継いでいくべきレガシーとなるか
 - ・ 展示場所との関連性・・・競技会場を展示場所とする場合に、会場の特性にあうものか
 - ・ 都民・国民への認知度・・・広く認知されているものか

＜アーカイブ資産のカテゴリーと資産例＞

カテゴリー	どのようなものか
聖火リレー	聖火リレートーチ、ランタンなど
開閉会式・表彰式	メダル、表彰台、衣装、大道具など
ユニフォーム	ボランティアユニフォームなど
競技用備品	公式球、ゴールテープ、胴着一式など
ライセンス商品	衣類、ピンバッジセット、ぬいぐるみなど
イベント関連制作物	フラッグツアー関連製作物、マスコットなど
装飾物・標識類	のぼり、フラッグ、ピクトグラム関係など
記録・報告書等	大会報告書、チラシ、ポスター、小冊子 マニュアル、計画、映像など

2 アーカイブ資産の管理体制

- 東京2020大会資産は、開催都市契約上、原則としてIOC・IPCに権利が帰属
- IOC・IPC・組織委員会・JOC・JPC・東京都の6者で、令和3年8月にアーカイブ協定を締結
- アーカイブ協定に基づき、開催都市として資産を維持、管理、利活用を行う。
- アーカイブライセンスと資産管理活用契約に基づき、アーカイブ資産を活用する。



3 アーカイブ資産等の活用の基本的な考え方

○「大会の感動・興奮を分かち合う」

より多くの人が大会の感動と興奮を分かち合い、身近に感じてもらえるよう、スポーツ、文化、教育等の様々な場面において、大会のレガシーに触れることが出来るようにする。

○「未来へ伝える」

大会のレガシーを確実に未来へと引き継いでいくため、大会を振り返る記録としてアーカイブ資産等をしっかりと保存・保管し、効果的な展示等活用を実施する。

○「身近に感じる」

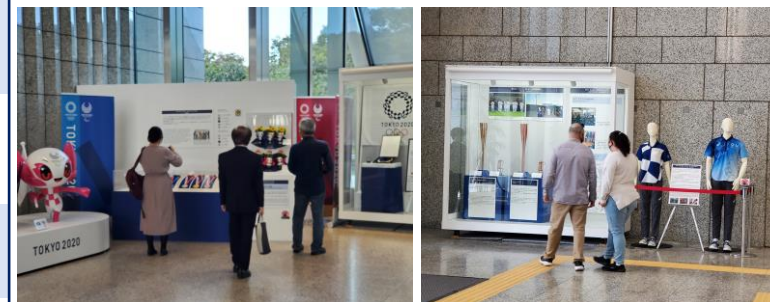
大会で使用された競技備品や大会記録等を直接見てもらい、大会を身近なものとして感じてもらい、スポーツへの興味・関心を喚起する。

4 アーカイブ資産等の先行展示例

○先行展示を実施した2事例 ※赤字部分が主な違い

	事例1	事例2（ARIGATOイベント併催）
日時	10月18～24日 9:00～18:30 (7日間)	10月16～24日 11:30～19:00 (9日間)
場所・交通アクセス	東京都庁 (新宿駅徒歩10分、都庁前徒歩1分)	東京スポーツスクエア (有楽町駅徒歩1分)
来場者数	約1,800人 (1日平均 <u>260人</u>)	約14,000人 (1日平均 <u>1,500人</u>)
主な展示内容	<u>大会メダル</u> <u>ビクトリーブーケ</u> 聖火トーチ <u>ボランティア関連展示</u> 大会マスコットモニュメント など	聖火トーチ <u>選手サイン入り競技用具</u> <u>選手村使用段ボールベッド</u> <u>メダリストパネル</u> 大会マスコットモニュメント など
並行イベント等	なし	<u>マスコットグリーティング (1日4回)</u> <u>ライセンス商品ショップ</u> <u>競技体験 (ボッチャ・ゴールボール)</u>
広報	東京都ホームページ Twitter	東京都ホームページ Twitter

会場の様子（都庁）



会場の様子（東京スポーツスクエア）



＜資料 3＞

アーカイブ資産等の活用

1 第1回アドバイザリー会議の論点

○下記の論点を中心に、議論を行う。

○各委員のご意見をもとに、「アーカイブ資産等活用方針（中間のまとめ）」を作成し、第2回会議において議論を予定。

＜本日の論点＞

★論点1 アーカイブ資産等の活用方法

★論点2 多くの方に見て頂く方策等について

【論点1】アーカイブ資産等の活用方法

＜活用（案）＞

- 各種イベント、資産貸し出し等での活用
- 各施設の特性に合わせて資産を活用
 - ・江戸東京博物館・・・歴史・文化的関連から、大会のレガシーを後世に伝える
 - ・都立中央図書館・・・各種広報物・冊子類等の文書資産を広く都民に伝える
 - ・都立スポーツ施設・・・来場者の大会の記憶と感動を呼び起こし、スポーツへの興味・関心を喚起

＜議論のポイント＞

- 活用方法　：　効果的な活用について
- 展示方法　：　体験型展示など、観戦した際の高揚感や感動を想起させる
開催都市としての様々な取組を幅広く後世に伝える
パラスポーツの魅力を効果的に発信する
- 取組　　　：　子供たちが大会を身近に感じられる取組
地域の活性化やスポーツ振興、復興の後押し等につながる取組
活用にあたっての中核的な発信拠点について

【論点2】多くの方に見て頂く方策等について

＜具体的な取組（案）＞

○関係団体等と連携

- ・アーカイブ施設間や各種イベントとの連携
（例）展示会場やイベントを巡るスタンプラリーの実施
各種イベントにアーカイブ資産等を貸し出す取組の実施など
- ・都営地下鉄や私鉄と連携
（例）電車中吊り広告やポスターの掲示
- ・都内区市町村や被災自治体と連携

○SNSを活用

- ・TwitterやInstagramを活用した広報
（例）会場内で展示に関する投稿した場合に、グッズをプレゼントするキャンペーンの実施など
- ・Youtubeを活用した広報
（例）訴求力のあるYoutuberに紹介してもらうなど

○オリパラレガシーとして、教育や観光資源で活用

- ・学校の修学旅行先になるよう紹介
- ・都内観光地の一つとなるよう観光代理店への働きかけ